

令和3年度 ヨコハマ市民まち普請事業

3つの施設整備提案を助成対象に決定！



まちづくりの提案に対して最大500万円の助成を行うヨコハマ市民まち普請事業。

令和4年2月6日(日)に開催した2次コンテストで、創意工夫・実現性・公共性・費用対効果・地域まちづくりへの発展性の5つの基準で公開審査(Youtubeライブ配信)を行い、**3つの提案が令和4年度の整備助成対象に選考されました！**

今後、グループ自らの整備により、まちづくりの提案を具体化していきます。



提案グループのプレゼンテーション



情報収集タイム



審査員との質疑応答



整備助成対象に決定した提案

【地域で繋がり、楽しむ！多世代・多文化交流の新拠点！】 まちとも 霧が丘（緑区）

団地の空テナントを活用し、コミュニティカフェを整備。

多世代・多文化の交流拠点とし、助け合いのネットワークを構築。

【評価のポイント】いろいろな人との会話が生まれ、世代や文化の違いを理解しあうコミュニティづくりにつながることに期待できる。



【八景市場ANNEX-自らづくり, つながる場所】食卓八景-つながりのリビングをつくる会(金沢区)

空き家を地域の人たちと改修したシェアハウスの共用部をまちに開放。

縁側やお庭を整備し、地域の多世代交流拠点へ。

【評価のポイント】これまで町を作ってきた古くから住む人たちと大学生とのつながりを生み、新たな活動が生まれることに期待できる。



【地域コミュニティのごきげんな居場所づくり】モヤキラCAFE実行委員会（都筑区）

コミュニティビジネス拠点の一角にコミュニティカフェの

キッチンを整備し、女性支援や地域の活動者の交流の場へ。

【評価のポイント】地域の人のみでなく、同じ課題を持つ人ともつながることでさらなる課題解決につながると期待できる。



※取材をご希望の方は、以下お問合せ先までご連絡ください。

参考：ヨコハマ市民まち普請事業とは・・・

市民の皆様が主体となっていく地域の課題解決や魅力向上のための施設整備の提案に対して、支援、助成を行う横浜市独自の事業です。二段階の公開コンテストを経て選考された提案には、50万円～500万円の整備助成金を交付し、まちづくりを支援します。

なお、令和4年度の助成内容は横浜市の令和4年度予算の議決をもって確定します。

お問合せ先

都市整備局地域まちづくり課担当課長

萩原 慶一

Tel 045-671-2665